新宿区県人会
勉強会

江戸時代の文化に親しむ

浮世絵の楽しみ方

歌川広重《名所江戸百景　玉川堤の花》
中外産業株式会社　原安三郎コレクション

8月5日（水）

会 場：主婦会館プラザエフ

〒102-0085
東京都千代田区六番町15
TEL:03－3265-8111（代）

受付開始　17:30～

勉 強 会（3F コスモス）
18:00～18:55

懇 親 会（3F ソレイユ）
19:00～20:30

会 費：7,000円
（懇親会費含む）
おつりがないようにご用意ください

申込締切：7月20日（月）

申込先・問い合わせ先
windflower9852@gmail.com
メールでお願いします

テーマ

4月の新宿御苑のお花見はいかがでございましたか。
今回の浮世絵勉強会では、その御苑あたりを描いた浮世絵である歌川広重の晩年の傑作〈名所江戸百景〉から《玉川堤の桜》などをご案内いたします。新宿ゆかりの浮世絵でもありますので、ぜひこの機会に、描かれた場所はどこか、そこには何があったのかご一緒に探ってみたいと思います。
そして、広重にとって花とは何か、花に寄せる思いを、日本の美意識を象徴する雪月花の作品の中に読み取っていきたいと思います。

講 師

小池 満紀子（新宿区県人会理事・国際浮世絵学会常任理事）

山梨県甲州市生。県立日川高等学校、都留文科大学文学部国文学科。
清春白樺美術館・櫛形町立春仙美術館（現南アルプス市立美術館）学芸員を経て、現在は中外産業株式会社取締役美術品担当、川崎・砂子の里資料館理事。NHK文化センター青山教室講師。主な展覧会「写楽と歌麿 江戸の浮世絵」「信仰の美術 甲斐の諸仏」（櫛形町立春仙美術館）他多数。 著書・共著に『広重TOKYO名所江戸百景』講談社、『小原古邨作品集』東京美術など。